



6月議会 一般質問

6月議会の一般質問で主張したかった事を要約したいと思います。実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



いいおかみなと公園エリアの有効活用について



いいおかみなと公園は県の管轄ですが市が管理しております。グランドゴルフ、遊具利用、散歩などに使われています。釣りをしている方もいますが積極的に推奨している訳ではないようです。キャンプやバーベキューは禁止になっています。素晴らしい環境のエリアなのでもっと有効活用すべきだと思います。

5月に公園の中を使って『竜王まつり』というイベントが開催されました。主な内容はアートパフォーマンス、ダンス、音楽、ゴミ拾いをやりました。飲食、ワークショップ、ハンドメイド販売など、30店舗の出店があり2000人を超える来場者がありました。これくらいの規模のイベントをやっても大きな問題もなく受け入れる事ができるキャパがあります。草が伸び放題になっているエリアも使えばもっと大きなイベントも可能になります。このエリアを使わない手はありません。しかし、この場所を借りるにはハードルがあります。市の共催や後援が必要になります。民間単独では借りる事が出来ません。

もっと気軽にみなと公園でイベントが開催されれば公園の有効活用にもなりますし、地域の活性化にもなります。年に3回くらいこのエリアで催しが開かれるようにしていきたいと思えます。案としては夏場に『水鉄砲大会』などはどうでしょうか？芝生エリアの真ん中に子ども用のプールを配置して水をかけ合うイベントです。キッチンカーや出店も配置して子どもに楽しい思い出を作ってもらいたいです。2番目は『ドッグラン』をやってはどうかという意見も頂いています。駐車場と広い芝生エリアがありますので条件は良いと思えます。3番目はコスプレパーティーも可能性があると思えます。遠くから来場してくれるお客様も見込めますし若い方の発信力を最大限に活用できるイベントになります。他にもアイデアはいろいろあると思えますが、それぞれの団体が場所を借りる事が出来なければ成立しません。公益性があり旭市の活性化のためにやっている団体には出来るだけスムーズに後援を出して欲しいと願っています。

もう一つは、バーベキューやキャンプを条件付きで出来るようにして欲しいです。これだけキャンプブームなのに優れた立地にあるエリアを放置しているのはもったいないと思えます。今は計画がないようですが、「いいおかみなと公園エリアの有効活用」をしっかりと検討していく事が観光復活への第一歩になると信じています。人が集まればビジネスチャンスが産まれます。お金の匂いがすれば人が集まります。良い循環の起爆剤になるように行政には長期的なビジョンを示して頂きたいです。



福祉の充実について

身体が不自由で外出できない人のために訪問理美容というサービスがあります。理美容師がご自宅まで訪問してカットなどを行います。この行為に補助を出している自治体が増えてきました。千葉県内54自治体の内、23自治体でなんらかの補助をしているそうです。旭市でも亡くなる直前でも元気な時と同じように身なりを整え尊厳をもって最後を迎えられるように補助して欲しいと願っています。「身体が不自由なのだから坊主で良いでしょう」と金銭面のために言われるのは悲しすぎると思えます。

廃校利用について

現在は小学校が15校、中学校が5校あります。これが小学校7校、中学校3校になる予定です。直近では干潟地区の3校が合併して古城小を使う案で進んでいます。そうすると萬歳小学校と中和小学校が廃校になります。その空いた校舎や体育館をどうしていくかを考えなくてはなりません。行政側は「地域の声を聞きながら進めていく」と回答をしていますが、地域の声だけでは市全体のビジョンは進められないと思えます。耐用年数、人口の変動、市のプランなどを加味して20校すべてのバランスを考える必要があります。それを検討する場所が今はありませんが今後発足するようです。こういう協議会は知らぬ間に何回か会議をして、パブリックコメントを求めて密かに決まってしまうので意見を言っておきたいと思えます。

◇学校の利用方法の案◇

- ①地域の交流拠点・避難所・スクールバス乗り場・体育館は社会体育施設として活用。
- ②武道場・・・常設で畳が敷いてある道場が一か所は欲しい。災害時は避難所にもなる。
- ③道の駅や宿泊施設・・・鋸南町の保田小学校のような使い方。
- ④撮影場所・・・ドラマ、映画、CMなどの撮影場所として貸し出す。聖地になって観光にも。
- ⑤観光スポット・・・外国人に日本の学校生活を体験してもらい観光資源に。制服の貸し出し。
- ⑥文化芸術活動拠点・・・芸術家が滞在し市民と交流して作品を残す。シェアアトリエ。
- ⑦図書館複合施設・・・寄付された本を教室ごとにジャンル分け。カフェ、レストラン、勉強部屋
- ⑧スポーツセンター・・・合宿受け入れ、民間スポーツ拠点、部活の代わりになる
- ⑨サテライトオフィス・・・IT企業を誘致。
- ⑩グランピング施設・・・キャンプや農業体験など
- ⑪民間に活用してもらう・・・売る、貸す。民間のアイデアと活力を募集する。



などなど実現性の有無はありますが様々な意見を頂いております。この他にも沢山の意見があると思えますので旭市にとって何が合っているのかを検討して頂き地域の声と混ぜながら未来を描いて欲しいです。私の個人的な願望としては④⑤です。学校を改装することなくそのまま使えますし低予算で外国人誘致を仕掛ける事ができます。学校は映画やドラマに頻繁に使われます。稼働している学校では制約が多いですが廃校利用ならば柔軟に対応できます。ファンは役者が撮影した場所を探してでも訪れます。遠くから旭市に足を運ぶ目的にもなります。地元民も好きな芸能人が沢山撮影に来てくれるとしたら嬉しいですね。先日、スイカのヘルメットをかぶった芸人さんと遭遇しましたが子ども達は大喜びでした。そういった思い出がシビックプライドに繋がっていくと思っております。

外国人旅行者の誘致について



コロナを気にしなくなり日本全体では外国人観光客がウナギ昇りに増えています。しかし、我が東総地区ではほとんど外国人観光客を見たことがありません。成田から1時間のこの地域にも国内外から旅行者を呼べる可能性はあると思えます。これから成田空港も拡張が決まり2029年には離発着が2倍になると聞いておりますので今から動き出さないと間に合いません。

外国人は何気ない日常に関心があるようです。日本人が何とも思わないような普通の風景でも観光資源になります。それを見出す事が大事です。古民家に宿泊や日本の生活体験もコンテンツになると思えます。外国人に需要があるコンテンツも作っていかなくてはならないです。日本の学校生活などは人気があります。アニメで観た学校の風景や行事を疑似体験できる場所があれば目的地を選んでもらえると思えます。その他にも日本の縁日を体験できる場所（常設）があれば立派なスポットの一つになります。それを上手く発信して外国人を呼べる地域を目指してはどうでしょうか。近隣市と協力して・・・。



市民の声



『慰霊祭のあり方』

8月15日、慰霊祭に参加させていただきました。玉崎神社の隣に旧飯岡町が建てた慰霊塔があります。そこには先の大戦でお亡くなりになった人々のお名前が地区ごとに刻まれています。この地域からも国のために命を捧げた方や、戦火に巻き込まれた人々がこんなにも沢山いらしゃった事を知りました。私たちが享受している何不自由ない生活は先人の犠牲や努力のおかげだと思いません。亡くなった方や戦後を生き抜き日本の復興にご尽力をされた先輩方に心より感謝の念を捧げます。

旭市で8月15日に慰霊祭をやっている場所はあまりないそうです。遺族会も高齢化していき人数もどんどん減っています。このままでは維持管理する人も受け継いでいく人もいなくなってしまう。終戦の日にして慰霊祭をやりたいという意見が出ております。遺族や地元の力だけでは近い未来に終わってしまいます。行政に何らかの形で携わって頂きたいです。



『窓口対応』

市民の方が母親の代理人として役所に手続きをしようとした時に委任状を求められたそうです。母親は字が書けない状態なので委任状が書けません。代理人は委任状の代筆は出来ないとわれ第三者が書かなくてはならなくなり出直しになりました。第三者が代筆した委任状を持って再び来庁した時に新たな書類が必要になり再び第三者の代筆委任状を用意しなくてはならなくなりました。このような手間をもう少し軽減できないかという相談です。申請内容にもよりますが、1親等の親族の場合は本人の了解があれば代理人が委任状の代筆をしても良いと思います。悪用される可能性はゼロではありませんが、第三者に委任状の代筆をしてもらった場合でも悪用は可能です。現実に併せて条例を変えた方が良いのではないのでしょうか。

イベント案内

今年度のYOU・遊フェスティバルは10月5日に開催いたします。注意点についてお知らせいたします。

- ①花火の打ち上げ時間が18時15分～19時になります。
- ②昨年度までは砂浜に駐車できましたが今年は完全に閉鎖になります。無料の駐車場は一切ありません。駐車場を確保していない方の車でのご来場はご遠慮ください。事前に有料駐車場をご購入をお願いします。現地払いの有料駐車場はありません。
- ③交通規制の時間は17:30～19:30になりますのが状況によっては前後する可能性があります。余裕をもってご移動をお願いします。ご迷惑をおかけしますがよろしく申し上げます。

詳しくはWEBで→
「いいおか 花火」で検索



旭市をより良い街にするために何をすべきか

旭市はどんな街かと聞かれるたら「ちょうど良い田舎」「首都圏の食物供給基地」と答える。とても住みやすい地域だと自負している。しかし、他の自治体と同じように徐々に人口は減っていき衰退している。これを何とか食い止めようと行政も議会も必死で考えているが抜本的な対策は打てていないのが現状だ。行政の施策だけで地域のブランド力は上がらない。私も含めて住んでいる人の魅力と努力があって発展につながると思う。移住者から伺った旭市の悪い所は「運転が粗い」「ポイ捨てが多い」という意見が多かった。私も先日、運転をしていて横断歩道に歩行者が待っていたので停車したところ後ろの車が自分を追い越していった事があった。信号機のない横断歩道の停止率をJAFが調べたところ千葉県は31.9%で38位だった。1位は長野県で84.4%と差はあまりにも大きい。交通事故の死者数も毎年5位以内に入っている。今年は現在1位だそうだ。飲酒運転の検挙率も千葉県でトップクラスという話も聞く。悪い所を少しずつ改善してより良い地域にしていきたい。「安全運転を心がける」「ポイ捨てをしない」「子どもにボランティアを経験させる」このような取り組みを継続的にしていきたい。お互いが尊重しあう素敵な社会を目指していこう。

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

7月、8月は祭りやイベントで多忙になり議員活動がおろそかになってしまいました。9月は決算があるのでしっかりと議案に向き合い精査していきたいと思っております。



令和6年8月 第12号



最近、物忘れがひどい...
家に同じ焼き肉のタレが4本ある

発行元

旭市議会議員

永井孝佳

〒289-2706

千葉県旭市下永井574-1

090-9332-1632

bbnagai@yahoo.ne.jp